

令和6年度第2号会報発行にあたり
全国の防災エキスパート（高速道路サポーター）会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。
また本会報をお読みいただいている皆さま、今後も防災エキスパート活動にご理解とご協力をお願いいたします。

今号は、西日本高速道路エンジニアリング中国(株)紙田直充様にメッセージを頂きました。
本会報を最後までお読みいただき、防災エキスパートについてより理解を深めていただければ幸いです。
(事務局本部)

「過去に学ぶ大切さ」

防災エキスパート運営連絡会委員（中国支部）

西日本高速道路エンジニアリング中国（株）

経営企画本部 品質安全部長 紙田 直充

防災エキスパート会員並びに関係者の皆様には日頃より高速道路事業及び防災エキスパート（高速道路サポーター）（以下「防災エキスパート」という）活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。中国支部では今年3月、コロナ過以降約4年ぶりに関係者が集まり対面での支部大会を開催しました。本大会におきましては、NEXCO西日本 取締役常務執行役員 保全サービス事業本部長（現建設事業本部長）の小笹浩司様から「災害対応の要諦～ゆっくり急げ～」と題したご講演をいただきました。この講演では過去の災害対応事例、他機関との連携、我々の使命、災害対応時の安全確保などが具体的に紹介され、防災の知識向上と今後の災害対応に役立つ非常に有意義な講話を頂きました。なお、来場できなかった本支部管内のNEXCO及びグループ会社社員に対してもWeb配信を行っています。

さて、ここで最近発生した特筆すべき災害に目を向けますと、今年8月8日日向灘においてマグニチュード7.1の地震が発生し、気象庁から南海トラフ地震臨時情報の運用が開始されて以来、初めて「巨大地震注意」が発表されました。本支部管内は最大震度2程度で被害はありませんでしたが、この発表を受けNEXCO及びグループ会社においても初めて南海トラフ巨大地震に対する備えとして、防災体制を構築するなど巨大地震の襲来を身近に感じた出来事でした。

又、今年9月21日台風14号の東進に伴い秋雨前線が刺激され能登半島では線状

降水帯が連続的に発生し、輪島市では観測史上最大となる時間当たり121mmの降雨が記録され、石川県内ではこの集中豪雨によって土石流や河川の氾濫が相次ぎ10月7日現在、死者14名、震災仮設住宅の222棟が床上浸水するなど甚大な被害を受けました。今回の災害は、能登半島地震の復興半ばの状態記録的な集中豪雨に見舞われたことによって、被害が拡大し、復興の更なる長期化を生む結果となっています。

これらの災害から時と場所を選ばず災害は発生すること、災害は繰り返し襲来するという現実を見せられた事例と言えます。我々は地震や集中豪雨の発生を防ぐことはできませんが、被害を最小限に留める減災対策や早期復旧への取組みは実施できる領域と言えます。近年多発・激甚化する災害に対して高速道路は救援・支援・復旧に欠くことの出来ない重要インフラであり、その強靱化と業務に携わるスタッフの災害対応力強化が急務となっています。来るべき災害に備え平時の段階からNEXCO及びグループ会社の現役社員に加え、防災エキスパートの皆様の経験と技術を結集して多発・激甚化する災害に対処しなければなりません。引き続き会員並びに関係者の皆様にはご支援とご協力を賜りますようお願い致します。



以上

北海道支部

活動名	防災訓練
実施日	令和6年8月30日（金）
場所	ネクスコ・エンジニアリング北海道
【内容】	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市にて直下型地震発生。北海道支社からエンジ北海道本社の対策本部へ防災エキスパートの参集要望を受けたと想定。 8名の一般防災エキスパートと32名のG防災エキスパートへメールによる安否確認及び参集可否を確認。 同じ会社のG防災エキスパートは、机上訓練を実施。



東北支部

活動名	防災訓練
実施日	令和6年8月30日（金）
場所	仙台管理事務所
【内容】	<ul style="list-style-type: none"> 三陸沖を震源とする最大震度7の地震が発生したことを想定 一般会員2名へ携帯メールを活用した支援要請の連絡訓練を実施 支援内容および管理事務所への参集時間等の確認を行ったもの

関東支部

活動名	防災訓練	活動名	支部会議
実施日	令和6年9月2日（月）	実施日	令和6年9月30日（月）
場所	ネクスコ東日本エンジニアリング	場所	アートホテル日暮里ラングウッド

【内容】
NEE防災訓練の中で、メールを活用した派遣要請の情報伝達訓練を実施
【メール内容】
訓練、訓練。
9月2日午前4時00分頃、首都直下地震(最大震度7)が発生しました。
NEXCO関東支社より、多数の被害が確認されている管内において、防災エキスパートの派遣要請を受けました。
現地参集の可否について、報告をお願いします。



【内容】

- 防災エキスパート概要、活動の紹介
- 関東における防災に関する近況
- 防災エキスパート関東支部の活動報告
- 防災に関する特別講演会

演題：「情報を活用した状況見積と災害対応～能登半島地震を振り返って」
講師：富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 准教授 井ノ口宗成 氏



新潟支部

活動名	支部会議
実施日	令和6年6月25日（火）
場所	アートホテル新潟駅前

【内容】

●防災エキスパート活動状況等

- 全国の活動状況、新潟支部の活動状況及びNEXCO新潟支社における防災への取組みについて報告共有を行った。
- 防災エキスパート全国の活動状況
- NEXCO東日本新潟支社の防災への取組みについて
- 防災エキスパート新潟支部の活動について

●防災に関する講演会

大規模災害発生時の活動や激甚化する自然災害への対応等について専門的知見を有する有識者による講演会を行った。

- 防災講演会『能登半島地震における地盤災害』
国立大学法人群馬大学
大学院理工学部 環境創生部門 教授 若井 明彦 氏



東京・八王子支部

活動名	防災訓練	活動名	防災訓練
実施日	令和6年9月2日（月）	実施日	令和6年9月2日（月）
場所	中日本高速道路(株)八王子支社	場所	中日本高速道路(株)金沢支社

【内容】

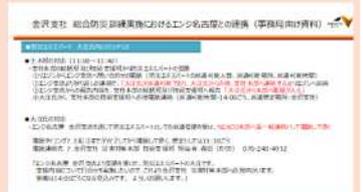
<訓練内容>

- 参集後1時間以内の初動対応訓練を実施（初動対応BOXの使用）
- 地震発生後の6時間後及び12時間後での対応事項をBCPを確認しながら事前に調整し訓練当日は進行シナリオ実施
- 訓練により顕在化した課題に対する業務継続計画（BCP）の見直し
- ウェアラブルカメラ、ドローンを活用した被災現場からの情報提供（進行シナリオ内で報告）

【内容】

<活動内容>

中日本高速道路（株）金沢支社と連携した防災訓練において、金沢支社から防災エキスパートの派遣要請を受け、上記活動者と金沢支社で応援派遣に関する調整を行った。



関西支部

活動名	支部会議
実施日	令和6年6月3日（月）
場所	茨木市市民総合センター

【内容】

NEXCO西日本関西支社と防災エキスパート関西支部の共催により関西地区防災講演会を開催。（公財）高速道路調査会から防災エキスパート活動のご紹介を頂いたあと、近年激甚化する災害に備えるため、ケイコン(株)山本技術顧問、（公社）日本技術士会東北本部 熊谷名誉本部長、および西日本高速道路(株)小笹保全サービス事業本部長から講演を頂き、参加者全員で知見を共有した。



関西支部

活動名 技術伝承（アーカイブプロジェクト）

実施日 令和6年8月20日（火）

場所 茨木技術研修センター

【内容】

- ・ふらっとアーカイブ記事
- ・技術伝承取材案
- ・出前講座他

中国支部

活動名 講演会の聴講

実施日 令和6年7月26日（金）

場所 ホテル広島ガーデンパレス

【内容】

業務研究論文 概要【55】

- ① 技術研究部門：15（土木、施設）
- ② 業務改善部門：40（土木、施設、事務）

四国支部

活動名 講習会講師

実施日 令和6年6月5日（水）20日（木）

場所 松山自動車道 伊予IC、石鎚山SA

【内容】

トンネル非常用設備の主水槽や上水設備の高架水槽で多用されている「フロートレス液面リレーと給水ポンプの自動運転」について構成部品の各部の働きと機能、回路構成及び動作原理を説明し設備の役割と機能について知識の向上を図った。

更に故障発生時に確認すべき箇所の手順やチェックポイントについてはフローチャートを用いて原因の絞り込みや測定機材を活用した確認方法について講義を行った。



活動名 防災訓練

実施日 令和6年9月6日（金）

場所 高松道 善通寺IC外プラ

【内容】

大規模地震発生時を想定した実地訓練

- ①土嚢作成及び土嚢による段差擦り付け（段差擦り付け高⇒30cm）

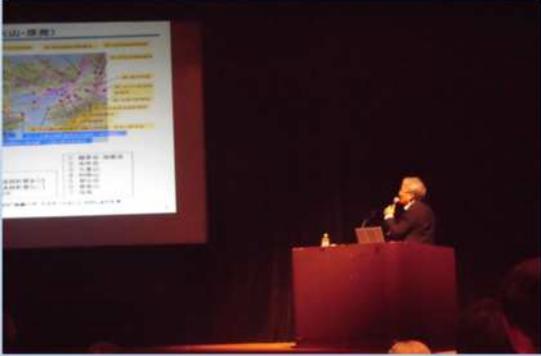
（土嚢作成及び土嚢段差擦り付け作業は、エンジが指導）

内容) 高速道路等で発生した段差に対して、点検用車両が段差を乗り越えるために必要な擦り付け設置の訓練

- ②震災用アルミブリッジ設置及び使用訓練(E-トレール使用)

内容) 高速道路等で発生した段差に対して、点検用車両で段差を乗り越えるために必要となるアルミブリッジ設置及び車両運転訓練



活動名	防災講演会	活動名	ぶらハイウェイ取材支援
実施日	令和6年6月3日（月）	実施日	令和6年9月20日（金）
場所	西日本高速道路エンジニアリング九州 会議室	場所	大分自動車道 湯布院IC～別府IC
【内容】	防災エキスパート九州支部の活動及び、NEXCO九州支社並びに九州地区の各G会社若手社員に防災の重要性と諸先輩方が築いた技術を、若手社員に伝承した。	【内容】	NEXCOの広報企画である「ぶらハイウェイ（参照：防災サポーター掲示板）」に大分道別府明礬橋が選定され、NEXCOと防災エキスパートで取り組むこととなった。NEXCO本社広報課の取材に対応した。
			

情報共有

防災エキスパート会員数と令和6年度活動実績

各事務局支部の会員数と令和6年度活動実績について情報共有します。各支部におかれましては、今後の活動計画を立案される際に、「防災エキスパート会員専用ページ」や本会報で他支部の活動も確認できますので、参考にして下さい。

防災エキスパート会員数

令和6年9月末時点

支部名 会員数	北海道	東北	関東	新潟	八東 王子・	東京 金沢	・名 古屋	関西	中国	四国	九州	合計
一般会員	5	38	43	8	45	28	59	10	21	36	293	
グループ会員	36	21	10	28	29	25	39	20	51	71	330	
計	41	59	53	36	74	53	98	30	72	107	623	

一般会員：グループ会員以外の会員 / グループ会員：NEXCOグループ会社の会員

令和6年度 防災エキスパート活動状況

令和6年9月末時点

項目	令和6年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道			調⇒中止		訓	訓⇒8月	講・支	点	点	調	調		
東北	点				訓		出				支		
関東	点					訓・支		支・講					
新潟	点	点	支・講		訓	訓⇒8月							
東京・八王子	点	他	他⇒延期			訓			支				他：現場見学会
名古屋・金沢	【ボ】	【ボ】		【ボ】	【ボ】	訓・講・【ボ】	支・講・【ボ】						
関西	調・他	調・出・他	調・支・講・他	調・他	調・他	訓・調・他	訓・調・他	調・出	調・他	調	調・他	調	他：アーカイブ取材、記事寄稿等
中国		訓		研	支⇒中止	訓⇒中止						調	
四国		調⇒延期	調		調・出⇒中止 訓	訓	支・講・他・出		訓		講	調	他：つなぎの森四国大豊町2024への参加
九州	点・調	講⇒調	講	出⇒中止	調⇒中止							支・点	
凡例	【支】支部会議、 【出】出前講座、技術講習会 【点】基本点検(会議等含む) 【研】講演会等の参加、 【災】災害支援、 【ボ】被災地ボランティア活動 【講】講演会(支部主催・共催)、 【訓】防災訓練 【調】連絡調整会議等 【他】その他 実施済み 支：会員専用サイトに資料を掲載しております。												



情報共有

被災地ボランティア活動の支援制度

従前より、平常時の活動として防災エキスパート会員の被災地ボランティア活動へ支援を行っていますが、加えて令和3年度より、下記のとおり「防災エキスパート」会員以外の被災地ボランティア活動へ支援も運用しています。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

- 将来の高速道路サポーターとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。
- 旅費交通費・宿泊費等を支援します。

- 【対象者】 高速道路会社の社員、高速道路会社グループ会社の社員
(防災エキスパート会員の方は支部活動として別途支援しております。)
- 【どういう場所】 安全が確保されている活動の場であること
例) 活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること
- 【活動区分】 独自で行うもの
支部等が企画したボランティア活動に参加するもの
- 【手続き方法】 ボランティア活動実施に伴う事前手続きについては、高速道路調査会ウェブサイトをご覧ください。
※申込みは、事務局支部が窓口になっております。

石川県能登半島における災害ボランティア活動

被災地ボランティア活動の支援制度を活用した活動報告

多くの方が石川県能登半島ボランティア活動に参加されました。その中でも複数回参加された中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋の佐々木未来様の活動についてご紹介します。

活動名	令和6年度能登半島地震における災害ボランティア活動 9/29・10/6・10/26
活動場所	○石川県珠洲市、鳳珠郡、
参加者	○1名（中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋㈱名古屋支店 高山道路事務所）

【令和6年9月29日の活動について】

高速道路の活動に活かせること

危機管理能力の向上

災害ボランティアでは、突発的な事態に迅速に対応する力が鍛えられる。この経験は、高速道路上の事故や災害時の緊急対応、また危険箇所の早期発見・対応に役立つと感じた。

地域との連携強化

ボランティア経験を通じて地域住民や自治体との連携を深めることができ、それを活かして地域と高速道路管理者の間の連携強化を図ることが可能だと考えた。
災害時には、情報共有や支援活動の調整をスムーズにできると思う。

応急処理の知識

ボランティア活動では、トラックに積載した災害ごみの固定や屋内から外への荷下ろし等で活用するロープワークや応急処理や救急対応の知識が活かされることが多い。
これを現場で活用することで、事故発生時に迅速な専門者にすべてを頼ることなく、各人が現場の緊急事象に対応でき、被害を最小限に抑えることが可能と考える。

その他の気づき

○地域性にもよるが、能登のような高齢者が多い地域は、避難者が被災地へ戻ってくるのが困難なため、ニーズは大量に存在するが、立会者が不在である場合が多く、なかなか片づけが進まない。また、公費解体の進捗も市民の方には、分かりづらく、地元に戻りたくても、いつ片付くか、いつ避難生活が終わるのは不明瞭なまま生活を送られている。

継続的なボランティアの協力が必要。学生団体やボーイスカウト等もいるが、一般ボランティアとして参加する方の年齢は比較的高い（40～60代）
インフラ業務に携わる人間として、リアルな構造物（道路や建物）の破壊形態を学ぶことができる。



写真：ご本人

情報共有

防災エキスパート会員専用ページをご活用ください

「防災エキスパート」活動の情報共有・収集に会員専用ページをご活用ください。

会員サイトの利用にあたっては、IDとパスワードによる認証が必要となります。IDとパスワードの未登録の方は、利用マニュアルがありますので、各支部にお問い合わせください。



求む!

防災エキスパート会員「講演会説明資料」等のご提供に関するお願い

防災エキスパート会員のみなさま、防災エキスパート活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたいをお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲載し、

全国の会員その他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー10階
高速道路調査会
防災エキスパート事務局本部

TEL: 03-6550-9114

FAX: 03-6550-9117

E-mail: bousaiex@express-highway.or.jp

編集後記

8月からお世話になっています事務局本部の中西です。9/30の関東支部会議に田之脇とともに参加させていただきました。

ネクスコ東日本エンジ良峰社長から「災害対応に向けてあらかじめ準備が必要なので、防災エキスパート会員のご支援をいただきたい。」と開会挨拶があり、東日本高速道路関東支社の芹沢部付部長から「関東における防災に関する近況」の報告がありました。

また、富山大学井ノ口准教授から「情報を活用した状況見

積と災害対応～能登半島地震を振り返って～」の特別講演があり、状況見積では災害対策の意思決定者が「何を判断するのか」「何を知らたがっているのか」に答える情報は何かを特定することが重要と話がありました。

これらの資料は防災エキスパート会員専用サイトの掲示板に掲載していますので、興味のある方はぜひご覧ください。

(事務局本部)

- ・ 災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ！！
- ・ 基本点検、防災訓練、意見交換会等の交流活動から！！